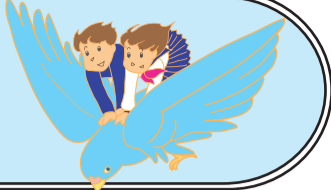


君とつばさ



平成25年7月15日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)0771
 (HP) http://www.kotsuiji.com

©交通遺児育英会

長期滞納約300件解消

通常理事会 24年度事業・決算報告を承認

公益財団法人交通遺児育英会は6月7日、第7回通常理事会を開き、平成24年度事業報告と決算報告を承認した。

【事業報告】

1. 奨学生の採用
24年度の新規採用者は、高校177人、大学202人、大学院17人、専修学校72人、各種学校7人の計475人で、前年度に比べて68人減となった。継続者も含めた総数は漸減傾向を続け、5年前に比べて約100人の減。中でも高校生は前年度比42人減で、少子化に加え、公立校の授業料無
2. 奨学金の返還
返還金の総額は10億600万円で、返還率は86.0%。前年度を0.2ポイント上回った。
返還が1年を超えて滞っている滞納者は、24年度末で3489人、前年度を300人以上下回り、過去5年間でも最少となった。
3. 奨学生に対する指導
高校奨学生と保護者の「つどい」には、36家族75人が参加。前年度より4家族30人減った。
「相談会」は、開催計画6都市のうち、広島、金沢、北九州3市で実施。残る3会場は、電話、個別訪問に切り替えたり、中止したりした。また、25年度からは
4. 学生寮の維持管理
東京寮では、塾生との毎月の定例会のほか、文章、読書感想文講座を各4回実施。関西寮でも、読書感想文講座を4回行った。
また、入居率30%と著しく低い東京寮について、適正規模への再構築を図る作業に着手した。
5. 資金造成活動の強化
多額の遺贈によって、寄付金総額は4億円を上回ったが、それを除く実質寄付金は1億7700万円止まり。過去に寄付実績のある法人・団体への復活の働きかけを強めた。
6. 知名度向上活動
プロジェクトチームを発足させ、交通安全運動への協賛やメディアへの働きかけを強めた。



▲通常理事会（6月7日）

交通遺児育英会理事長に就任して

公益財団法人交通遺児育英会の理事長として長年、多大な貢献をされた中根寛さんが勇退される後を受け、新理事長に就任することになった。

遺児支援へ山積する課題

英知・パワー集め解決



菅谷 定彦

12年前、メディア代表として評議員になり欠かさず出席、理事会の議事録も毎回読ませていただき、将来性豊かな交通遺児を支援するこの会の社会的な重要性は強く認識している。

また昨年、社長、会長を含め13年間勤めたテレビ東京から退任した。

と、20年前、妻が母親の遺産の大半を寄付して設立した公益財団法人交通遺児育英会の評議員、理事をスタート以来勤めていることも、今回理事を引き受け、46年から3年間のニュー

と、20年前、妻が母親の遺産の大半を寄付して設立した公益財団法人交通遺児育英会の評議員、理事をスタート以来勤めていることも、今回理事を引き受け、46年から3年間のニュー

奨学生募集中

今年3月に高校、専門学校、大学・短大を卒業した奨学生のうち、就職・内定した卒業生は、全体で75%の割合を占めた。

就職率、今春も75%止まり

卒業奨学生の生活状況報告書から

止まり——交通遺児育英会の生活状況報告書を集計した結果、卒業生の就職・内定率が、全国平均の8割より低いことがわかった。

報告書提出期限の2月末現在で回答した奨学生のうち、高卒生の就職希望者は1億3800万円の減少となった。

34人で、27人(79%)が内定。専門学校生の就職希望者は56人のうち、内定したのは36人(64%)。大学・短大生は96人の希望者のうち、77人(80%)が内定した。

文部科学省、厚生労働省などによると、報告書とほぼ同時期の2月1日現在の全国の就職率は、高卒生88%、専門学校卒生79%、大学生82%。高卒生と専門学校生は、全国平均を10ポイント前後下回った。

両省がまとめた全国平均の就職率は、高卒者が94%(4月1日現在)、高卒者が96%(3月末現在)。ともに2、3年連続して改善している。奨学生も、前年の73%よりわずかに改善しているものの、全国平均を大幅に下回る傾向は、変わらず続いている。

進路別では、回答した高卒生191人のうち、153人(80%)が進学希望、進路を決めかねているのは4人だった。専門学校生では、回答者65人のうち、進学希望が5人、未定・未卒業が4人。大学・短大卒業生では、135人のうち、進学21人(16%)、未定・未卒業が20人だった。

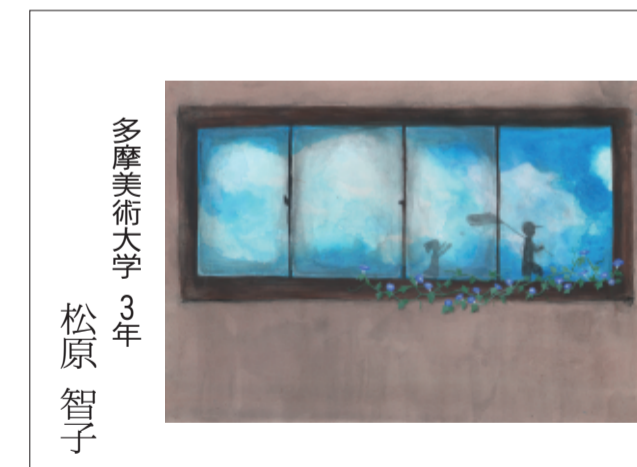
育英会理事長に菅谷氏を選任

交通遺児育英会は、6月26日、評議員会と理事会を開き、任期満了で退任した中根寛前理事長の後任に、同日付で前評議員の菅谷定彦氏(74)をテレビ東京相談役を選任した。また、他の理事12人と監事2人を再任した。

菅谷新理事長は、1996年、日本経済新聞社に入社。米州編集局長、常務・名古屋支社代表、専務・大阪本社代表などを歴任後、99年、テレビ東京副社長、同社長、会長を経て、2012年から現職。

育英会では、01年から評議員を務めてきた。

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



「夏の初めの思い出」アクリル・紙 多摩美術大学 3年 松原 智子

「本日、御富一番、子の千三百六十五番!」どうしたい? 「もうちょっとの違いだ」「何番?」「八百番!」

「落語『宿屋の富』で千両富の当たり札を、かすめた町人の悔し紛れの嘆きだ。今日の紙面に、出演していただいた何人かのうち、同じ日生まれの人が2人いる。赤ちゃんに生を受けたいと願う学生と、1歳になったばかりの子と。実は、小紙編集者もそれに加わる。紙面の裏裏に隠れる20人足らずの中に、同日生まれが3人もいると、奇しき偶然も相当なもの。取材中に思わず「ほが緩んだ!」話し相手に誕生日を告げ、「あつ、1日違いですね」と急に親しみが湧いたように返された時、「いや、364日違い」と答えて、ひどく不興を買ったことがある。2度と相手にされなくなったのは、言うまでもない。137億年の宇宙の歴史を1年に例える、壮大な物差しを使うと、元日に宇宙が生まれた後、地球の誕生は8月(46億年前)だった。人類は、大みそかの夜10時近く(400万年前)になって、ようやく登場したに過ぎない。誕生日が100日違おうと、2000日ずれよう、その違いはわずか時間になる。すれすれで、かすめただけと思えば、2人に限らない。皆さん、誕生日おめでとう。

けなどの詳細な実施計画をまとめ、強力で推進した。

【決算報告】
 収益は、大口遺贈(3口で2億5000万円)による寄付金が大きく寄与し、6億4200万円、費用は事業費4億1100万円と管理費9400万円の計5億5000万円、当期正味財産増減額は、1億3700万円の黒字となった。

この増減額は、前年度比超額で賄えず、現預金は1億3800万円の減少となった。

『君とつばさ』の活字が大きくなります
 『君とつばさ』の基本活字が、次の10月1日号から、約13%大きくなります。今お読みいただいている、この欄の文字が新しい活字です。合わせて、企画記事の掲載面を一部変更し、より親しみやすく、わかりやすい紙面を目指します。引き続きご理解とご支援をお願いいたします。
 交通遺児育英会



お便り

【4月】
 新学期になり、今年も元気に過ごして、(寄付を)送らせていただくことをあがりたく思っています。
 (愛知県瀬戸市Y・Hさん)

【5月】
 Dさん
 寒い日がありますので、皆様お体を大切になさってください。希望と感謝と喜びをお祈りいたします。
 (神奈川県秦野市S・Eさん)

【6月】
 82歳の女性です。少少ですが、彼女のような生き方と信念を持つ若い世代がこれらが必要で、そういつの時代の使い方が、5年後、10年後、その方の人生を左右するのだと思います。
 (静岡県掛川市A・Hさん)

【7月】
 梅雨に入ってもよく晴れた日が続きます。健康に気をつけて生活してください。本もたくさん読んでください。
 (東京都西東京市T・Tさん)

【8月】
 新緑の美しい、よい季節です。日本が少し元気になれるようなこのころです。
 (横浜市M・Sさん)

【9月】
 JA共済連様
 全国共済農業協同組合連合会様から、自動車損害賠償責任共済運用益の拠出事業の一環として、平成25年度において、当会の交通遺児支援活動へ助成をいただきました。
 同連合会様からは、当会の設立間もない昭和46年から多大なご支援をいただいています。

【10月】
 積水樹脂様
 製品売り上げ収益から寄付
 積水樹脂様は、社会貢献活動の一環として、平成23年より「交通遺児育英会協賛キャンペーン」を継続して実施し、主力製品である「車線分離標ポールコーン」の収益の一部を当会に、交通遺児支援のため寄付をいただきました。

【11月】
 オリックスグループ様
 チャリティの収益金を寄付
 オリックスグループ様より、社会貢献活動の一環として4月にオリックス自動車の本社ビルで行ったチャリティでの収益金を、公益財団法人オリックス財団を通じて当会に、交通遺児支援のため寄付をいただきました。

健康が宝 若さを満喫して 読書を

学生の皆様、お元気ですか。今年も青葉の季節がやってきました。独り暮らしの生活を送る中で、海外ボランティアのため休学したり、フリースクールに通ったり、若い間に回り道をする方もいます。

「ギャップ・イヤー」という言葉を報道で耳にした。ストリートに進学する方の中には、海外ボランティアのため休学したり、フリースクールに通ったり、若い間に回り道をする方もいます。

健康第一、マイペースでがんばってください。(愛知県豊橋市F・Nさん)



あしながおじさんの広場

ご支援に感謝いたします

あしながおじさんの募集集中

2年生以上の継続採用を含めた6月1日現在の奨学生総数は、高校432人、高専・専攻科14人、大学631人、短大46人、大学院28人、専修学校175人、各種学校7人の計1333人。前年同期に比べて80人減となった。

【再任】代表理事・会長 清水司▽業務執行理事・専務理事 石橋健一▽理事 有田順一、安齋省一、伊藤知男、岡本裕之、島田輝子、田中勲、土肥寿員、花上嘉成、前畑安宏、横山茂▽監事 小栗洋、森井通世

【新任】代表理事・理事 菅谷定彦

【再任】代表理事・会長 清水司▽業務執行理事・専務理事 石橋健一▽理事 有田順一、安齋省一、伊藤知男、岡本裕之、島田輝子、田中勲、土肥寿員、花上嘉成、前畑安宏、横山茂▽監事 小栗洋、森井通世

【退任】(代表理事・理事) 中根晃 (7月2日)

【新任】評議員 堀井栄夫(全日本中学校長会事務局長)▽同 出口喜昌(日本私立大学団体連合会事務局長)

【退任】評議員 青柳修治▽同 小出秀文

聴き手に信頼を届ける

心熟東京寮 スピーチ講座講師 佐々木繁範



聴き手に信頼を届ける

心熟東京寮 スピーチ講座講師 佐々木繁範

今年の4回の講座を通じて、皆さんには、コミュニケーションの本質をお伝えしたいと思っています。そして、その経験を活かすことが、皆さんの未来を切り拓く大きな一助となるからです。

考える力に加えて、自ら発信する力を身につけることが、皆さんの未来を切り拓く大きな一助となるからです。

身体メッセージにも敏感であれ

身体メッセージにも敏感であれ

今年の4回の講座を通じて、皆さんには、コミュニケーションの本質をお伝えしたいと思っています。そして、その経験を活かすことが、皆さんの未来を切り拓く大きな一助となるからです。

予約3666人を本採用

25年度 奨学生総数1333人に減少

奨学生数の推移 (各年度とも6月1日現在)

	23年度	24年度	25年度
高校・高専	523(135)	487(115)	446(133)
大学・短大	711(188)	715(162)	677(144)
専修・各種	199(72)	185(66)	182(77)
大学院	29(10)	26(8)	28(12)
計	1,462(405)	1,413(351)	1,333(366)

単位:人、()内は本採用者数で内数



25年度 奨学生総数1333人に減少

交通遺児育英会は、予約決定者の中で、今春、上級学校に入学した3666人の本採用者は、高校130人、高専・専攻科3人、大学123人、短大21人、専修学校75人、大学院12人で、前年同期に比べて15人の増加となった。

学校種別の内訳では、高校・高専が18人増、大学・短大が18人減、専修・各種が11人増となっている。

説明会に親子ら49人出席

語学研修 初の米国に思いはせ

交通遺児育英会の海外語学研修事前説明会が6月22日、都内で行われ、高校奨学生29人と保護者ら49人が出席した。

冒頭、石橋健一専務理事が、「現地でもっと学びたい、大きくなって帰国して英語での自己紹介を見守る高校生ら(東京)」

第二のわが家、いいね!

新心塾生 入寮3か月

壁のない交流 寮生活で自信



須藤 美樹 (東京寮)

入寮する前は、自分、人見知りをして友だちができていないのではなかったか、寮の仲間とうまくやっていけるだろうか、と不安だった。しかし、心塾はアットホ



坂口 芽衣 (関西寮)

心強い仲間と 思い出作りのも

入寮した当初は、慣れない土地での一人暮らしに不安でいっぱいだったが、4月の新塾生歓迎会で、先輩や同級生と知り合うことができた。近くに仲間がいるのは心強い。思っていた以上に忙しく、大変な学校生活も、心塾があるからだと



金子 和史 (東京寮)

5時半起床で 余裕持ち通学

寮生活は、良い意味で想像と違っていた。寮では、塾生が互いに深く関わることはないと思っていた。しかし、年間を通した行事で

交通遺児育英会の心塾にこの春入寮した大学、専門学校の新入生は、東京、関西の計30人。実家を離れて3か月、第二のわが家“体験記を4塾生に寄せてもらった。(敬称略)

寮は、規則や門限のおかげで規律ある生活が送れているのだと思う。また、一人暮らしの友人が、炊事が大変だとか寂しいとか言っているのを聞いて、毎日おいしいご飯があり、優しい寮長さんたちに見守っていただき、先輩や仲間がそばにいて環境のありがたさを改めて感じている。



小西 良弥 (関西寮)

温かさを感じる 商店街通学路

今まで京都に来ることが少なかったのに、道に迷ったらどうしようと、始めは通学が一番不安だった。だが、直線コースが多く、不安はず解消した。通学路には、駅やコンビニやスーパーがあり、生活に必要なものが、何でもそろえられる。

中でも、私は商店街がとても気に入っている。人との出会いが好きたからだ。二条城の方を歩けば、通勤や観光の人たちに、商店街の方から通学すれば、店を開ける人、子どもを送り迎える人、ごみを出す人などに会えて、どこか温かさを感じることが出来る。ご飯を作ってくれる寮母さん、世話をしてくれる寮長さん、いつも私のことを考えてくれる両親、友だち、心塾に感謝して、報えるように、進んでいきたい。(京都医専専門学校)

今と将来の自分のつながり 野田 英俊さん

今春の卒業生が、奨学生生活最後となる生活状況報告書に添えた作文、「学生生活を振り返って」を紹介する。

育英会の奨学金を借りて一人暮らしを始めた。この4年間、仕送りはほとんどなく、奨学金とアルバイトだけで生活した。奨学金は自分で返すと決めていたの、仕送りだけで生活している友だちもいるのを知った時、始めは正直いやでした。しかし、4年たった今、将来の自分に借金して生活したことを、とてもうれしく感じています。入学したところ、講義にはほとんど欠かさず出席していましたが、受験勉強から解放され、どうしても学ぶことに積極的になれませんでした。実家

卒業生 決意の「ありがとう」

母からの自立、新たな始まり 河西 郁美さん
大学院で「臨床心理学」を研究した2年間、「人が生きるとは」という大きな問いと向き合いました。それは、自分を見つめる貴重な時間でした。とくに父親について考える時間となりました。1歳の時に父を亡くした私にとって、父はいなくて当たり前であり、寂しい、悲しいと感じたことはいくらもありませんでした。しかし、大学院で初めて父の「死」と向き合いました。父に、もう会うことができない、という現実を直視して初めて心に大きな穴が空いているような空虚感を感じました。その体験をもとに、育英会のご協力を得て、修士論文で、乳幼児期までに父を亡くした青年期の人を対象に、内

燃える青春 部活動輝見



3年 小笠 拓子 さん

正門近の本館1階にある礼法室。茶道部の小笠拓子さん(17)が茶筌で泡立てると、畳の間に抹茶の香りがほのかに立つ。徳島県立城東高校(徳島市)3年の小笠さんは、これまで静かな「悪い」を心底楽しんでいる。☆癒す 入学前の春休みに、大学受験を見据えて予備校に通い始め、早くも勉強に明け暮れる毎日。「和やかな、息抜きの間が必要だと思っ。茶道をしている時は、安心してほっとする。お点前の際は何かを考えず集中する。心が研ぎ澄まされた集中がいい」

心研ぎ澄まして お点前



「受験に立ち向かう心がもつ成です。もうすぐ帰ってくるので、内心わくわくしています」 放課後、予備校に行く。帰宅は夜10時半ごろ。いつもなら、夕食は、母の作った弁当だが、留守の間は、業者さんに頼んで予備校に配達してもらっている。母が帰ると、手作り弁当も復活する。「でも、母が帰ったら、『ゆっくり休んで』と言うつもり。辛い修行で疲れているはずだし、留守中は、私が弟の朝食や

「受験に立ち向かう心がもつ成です。もうすぐ帰ってくるので、内心わくわくしています」 放課後、予備校に行く。帰宅は夜10時半ごろ。いつもなら、夕食は、母の作った弁当だが、留守の間は、業者さんに頼んで予備校に配達してもらっている。母が帰ると、手作り弁当も復活する。「でも、母が帰ったら、『ゆっくり休んで』と言うつもり。辛い修行で疲れているはずだし、留守中は、私が弟の朝食や

徳島県立城東高校

茶道部

入学前の春休みに、大学受験を見据えて予備校に通い始め、早くも勉強に明け暮れる毎日。「和やかな、息抜きの間が必要だと思っ。茶道をしている時は、安心してほっとする。お点前の際は何かを考えず集中する。心が研ぎ澄まされた集中がいい」

小学1年のころ、茶道に親しんでいた母、圭子さん(47)が、よくお茶会に連れて行ってくれた。抹茶を飲んで菓子を食べて……。幼くして「甘さとほろ苦さのバランス」を味わっていた。小学3年になると、茶道教室にも通った。中学には茶道部がなかった。高校で茶道に再会できた。部活動は週1回。校外から裏千家の先生を招いて、指導を請う。28人の

「受験に立ち向かう心がもつ成です。もうすぐ帰ってくるので、内心わくわくしています」 放課後、予備校に行く。帰宅は夜10時半ごろ。いつもなら、夕食は、母の作った弁当だが、留守の間は、業者さんに頼んで予備校に配達してもらっている。母が帰ると、手作り弁当も復活する。「でも、母が帰ったら、『ゆっくり休んで』と言うつもり。辛い修行で疲れているはずだし、留守中は、私が弟の朝食や



河野直樹さん

大分市医師会看護専門学校

看護学科2年

「准看護師として働きながら、看護師の勉強も続けているんです。」

「週3日、病院の仕事をして、3日は学校に通います。授業は昼間ですが、病院では交代制の8時間勤務なので、日勤の後、帰宅して少し休んで朝までの深夜勤に出たり、授業を終えてから準夜勤に入ったりにしています。初めは体力的にきつかったです。」

「クラスの皆さんも、同じです。」

「皆、どこかの病院で働いています。それぞれ担当の科や勤務形態は違いますが、週の後半になると、学校に戻ってきます。」

「2歳の時、父を亡くしたので、小さいころは、母と伯父が営んでいたパン屋になるのが夢でした。高校で進路を選ぶ時、資格を取って安定した仕事に就かなければいけないと思っていたので、介護士や看護師を目指す福祉コースを選びました。担任の先生が、『勤めながら資格が取れる看護師の道もある』と教えてくれたのが、きっかけです。」

働き学ぶ看護の心

学校の実習室で血圧測定、乳児の世話も学ぶ



習は、自分が勤めている施設ではなく、この学校の病院です。どの科で勉強するかはわかりませんが、精神科、産婦人科ということもあります。脳梗塞や麻痺がある患者さんに対処するかなど、患者さんの状況に応じてどう看護するかを学びます。」

「男子の先輩を見ていると、救急医療がかっこいいと思います。ただ、それには知識と経験が必要で、これからの実習を通して、自分の向き不向きを見つけていきたいと思っています。」

「病院の寮で一人暮らしですね。卒業後は、」

「学校も病院も実家から通えますが、今のうちに自立することを経験しておきたいと思って寮に入りました。できるだけ自炊しています。母が少し体調を崩して心配なので、今は頻りに帰宅しています。母一人子一人なので、卒業したら、家から通える範囲の病院で働きたいと思っています。」

「助手と准看護師の仕事はどう違いますか。」

「1年の時は座学が中心で、消化器や循環器などで、一般的な病気の授業でした。2年になって、小児や母性、高齢者看護など、難しさを乗り越えて、笑顔の看護を目指しています。」

「母を気遣う自立の道」

命預かる重みひとしと母を気遣う自立の道

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

「母を気遣う自立の道」

インタビュ

わが道

宮本光郎校長。週3日登校する2年課程の昼間定時制校。定員は1学年50人で、大分市に開校。88年、設置主体の変更で現在の校名に改称。

先輩 お元気ですか

航空自衛隊南西航空音楽隊 空士長

川畑 浩平 さん



を吹く空士長、川畑浩平さん(28)が、一際高く奏で

披露し、青空の片隅に、南国の驟雨を予感させる黒

部届けを出せなかった。持・向上の練習、体力錬成

のほか、自衛隊員としての訓練などが通常の日課」

「他の4音楽隊は、吹奏楽が中心。自分はずっとクラシックを勉強してきたし、ここでのジャズやポップスの経験も生かせれば」と、意欲を見せる。

地域、家庭に和音を奏で



(上) 本番前日、基地内の練習室で入念なリハーサル

(右) 糸満ハーレー一會場で本番演奏、歌や踊りもこなす



麻美さんと凛ちゃん(川畑さん提供)

い雲が立ち始めるころ、アソコルにも応えて、この日の広報任務を終えた。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

「音楽隊は、広報部隊」。隊長以下約20人のメンバーから、しつかつめらさばうかがえない。テレビドラマ「空飛ぶ広報室」を地で行く「軽いノリ」が身の上だ。

愛娘の成長見せたかった 釣果誇ったあの日の笑顔今も

あの日……。夫が、釣り道具を抱えて朝早く出て行った。午前10時ごろ、大ぶりのアオリイカを引っ提げて、意気揚々と帰ってきた。

愛知県豊橋市に本社を置く東海漬物社員の寺部知子さん(45)は、夫・晃さん(享年40)の一番の思い出と言えば、今も、初夏の一日を思い出す。

寺部さんが当時勤めていた田原市の工場に、旬のイカを届けに来た。寺部さんの上司にプレゼント。「次はタイを持ってくるから」と言い残して、晃さんは自身が経営する自動車修理工場の紹介で知り合う。

お母さん ただいま 奮闘中



話題が合った。1年後に結婚。

夫は、自動車関係の会社に勤めながら、岐阜県のサーキットコースを舞台にスピードを競う、レーシングカー・チームを作り、自らハンドルを握っていた。

寺部さんも、深夜にも関わらず、テレビのF1レーサー中継を欠かさず見るほど

仕事で扱っているからもういい、と言って、レースはやめました」

半島突端の伊良湖岬は、晃さんの出身地。よく出かける、いつも鮮魚を持ち帰った。タイやカツオを手際よくさばいて、食卓に。

「私は、魚と言えばアジの開き。生魚は食べたことがなかった。夫の魚を食べ

寺部知子さん



東海漬物社員
愛知県田原市

のレース好き。「レーシングカーが、最終コーナーを回って直線コースになると、チェックカーフラッグが翻る。その時、いつもドラマがあって興奮しました」

夫を、スタンドから応援したことはない。「チームに加わって、タイムキーパーをしていました。楽しかった。今振り返ると、ずいぶんお金のかかる遊びだったと思います」

長女の成美さん(17、高校2年)が生まれて、手狭になった豊橋の家から、渥美半島の田原市に新居を構えたころ、夫の趣味が車から釣りに転じた。「車は、

アイス争奪

成美さんが保育園に通い出すと、「家にも、アイスがないから動こう」と思って、家からも近い東海漬物の工場にパートで勤め始めました。ぎゅうりのキュウちゃんを造っている工場です」

全国の支店に向けて、注文の商品を出荷する指示を出す部署。ときはきこなしの取り合いです。以来、カッ



女性スタッフ7人のまとめ役。パソコンに注目のFAX一覧が表示されると、ときはきと出荷を指示 (本社受注センターで)



成美さん(左)とは「友だち」のよう

娘の恋人

成美さんは、通学に1時間間半もかけて、遠方の高校に。バレーボールの朝練で6時過ぎに家を出る。

娘の弁当を作るのは、文字通り「朝飯前」。「しつかり作っていますよ」。それが苦にならないのは、毎朝4時に起きて、近くの海に出かけるから。趣味のサーフィンで汗を流し、「ストレスを解消」して、1日を始める。

放射線技師を目指して理系コースに入り、「リケジョ」の仲間入りした成美さん。今夏、母と、祖父を置いて、育英会の語学研修でオーストラリアに旅立つ。やがて、広い世界に出ていくかもしれない。

「本当は、娘とずっと一緒に暮らしたい。でも、いろんな経験をさせて、外にも目を向けさせたい」

夫に、娘の成長を見せたかったと思う。中学のセーラー服、高校の制服に身を包んだ娘と、「一緒に歩きたかったらうな」と思った。「娘は「恋人みたいになっちゃう」と、夫がそこにいるかのように話しています」

「あの日」から8年目の和ケアの本があった。人の行く末、死の恐怖や意義、どれも難しいことばかりだったが、私は感銘を受けた。

亡き母への孝行 家事と夢の実現

岩手県 橋野由香里

私の母は昨年2月に亡くなりました。この1年を振り返って、長かったと感じます。

高校受験の直前でした。父から聞かされた時、全身の血が足と頭にもついていたようで、今までにない感覚でした。非常にショックで、絶対に忘れることはできません。それ以来、私の気持ちは低下していたと思います。

でも、私には家族がいまいます。4人で元気に暮らすと決めた。受験会場に向かいまわりました。第一志望の高校に合格しました。生きてきた中で一番うれしい出来事でした。高校では、たくさんの友だちができて、何でも言い合える仲良しもいて、充実しています。

家に帰ると、すぐご飯を作り、食後はすぐ食器を洗って、お風呂に入って、洗濯して。毎日が大変です。今は手際よくこなせるようになってきました。でも、も

つと意識を高く持って家事に臨みたいと思います。母に対して親孝行ができないままなので、家事をしっかりこなすこと、将来の夢をかなえることを親孝行として、早く母に伝えることができたいと思います。

そのためには、時間を押し切らなければならない。この1年で収穫したものを、次の年もその先も生かせるようにがんばりたいと思います。

感情に流されず
冷静に自省する
北海道 木村 一斗

学校の係の仕事がうまく行かず、腹を立てて廊下の壁を蹴りました。周りのせいでと考える自分がいるか、自分は何も変わらないような気がしました。

僕の課題は、自分ですべて正しいと思わず、感情に流されず、冷静に考え直す力を持つこと、自分の間違いも認め、どうするのがベストか考えて行動することだと思っています。その課題を克服したいと思いました。

高校生の声

世界を飛び回る
外科医になる！
愛知県 林 香

私には夢がある。世界中を飛び回る外科医になることだ。幼いころから、漠然と医者になりたいと考えていた。そんな私が、具体的にやりたいことを考え始めたのは、中学生のころだった。中学生のころだった。学校で借りた図書に、緩和ケアの本があった。人の行く末、死の恐怖や意義、どれも難しいことばかりだったが、私は感銘を受けた。

世界を飛び回る 外科医になる！

愛知県 林 香

緩和ケア医になりたい、人生や死について考えてみたい、と思うようになった。緩和ケア医になるには、専門分野を持つ医師としての経験が必要になる。どの分野が適しているか考えたが、答えは見つからなかった。

昨年暮れ、学校の選抜メンバーとしてニューヨークの交流を訪ねた時、がんセンターで授業を受けた。その時に、先進国と途上国の格差を見た驚きは忘れられない。

私は、世界中を飛び回ら

生活しています。その中で、僕が当たり前の行動を要求する発言をしても、従おうとする人は半数ぐらいはいません。

そのことで腹を立てて物に当たってしまう自分。自分が当たり前と感じることも、他の人たちにどうも、当たり前ではないかもしれない。自分の要求を全員に理解してもらおうとは、とても難しい。

教室で起きていることに反応して、自分の感情をコントロールできずにいました。時間がたつと、どうでもいいことのように忘れていきます。

どうしてなのか、クラスメートにどう戦略を持つ必要があるか、などは考えません。周りに腹を立てても、自分は何も変わらないような気がしました。

私は、世界中を飛び回ら

私の学び舎 夢の扉

弘前大学

医学部保健学科 3年

田中 里奈 さん



「里奈コース」の練習隊長

保育園の遠足で、出血を
ともなう大けがをした。血
で汗を流して帰宅すると、
血小板が少なく出血が止ま
らない。また入院。中学生
になって、腰痛に見舞われ
る。側溝症とわかって、今
も通院している。腫瘍と腰
の治療は、今学んでいる大
学病院で受けた。

母・克子さんを中学2年
の時、亡くした(享年40)。
「だから看護師になりた
がっている、と周囲から見
られますが、ずっと看護師
さんに世話になってきて、
「選抜試験」に通らなけ
れば、改めて大学院か専門
学校で学ぶことになる。
「県内にはその学校がな
いので、進学は、県外に行
くしかない。父を説得する
のが……。いつかきちんと
話したいと思います」
祖母と叔母、高校生の弟
2人の、一家6人。「父に
言いくいことは、祖母に
話すと伝わるんですが、県
外へ出る件は、『本人から
聞かないうちは』と受け流
されてしまったようで」
来年の卒論の研究テーマ
は、もう決めている。「不
妊治療」。「弟は生意気盛
りですが、年の近い話し相
手が家にいるのはありがた
い。私は兄弟
に恵まれた。
子どもを作り
たいと悩んで
いる人の力に
なれたら、と
思います」

◆結実の秋

「選抜試験」に通らな
ければ、改めて大学院か専門
学校で学ぶことになる。
「県内にはその学校がな
いので、進学は、県外に行
くしかない。父を説得する
のが……。いつかきちんと
話したいと思います」
祖母と叔母、高校生の弟
2人の、一家6人。「父に
言いくいことは、祖母に
話すと伝わるんですが、県
外へ出る件は、『本人から
聞かないうちは』と受け流
されてしまったようで」
来年の卒論の研究テーマ
は、もう決めている。「不
妊治療」。「弟は生意気盛
りですが、年の近い話し相
手が家にいるのはありがた
い。私は兄弟
に恵まれた。
子どもを作り
たいと悩んで
いる人の力に
なれたら、と
思います」

桜の季節には家族と、
時には仲間と訪れる、
大学のすぐ近くにある
弘前城公園で



母子の命をつなぐ夢

保健学科で看護学を専攻
している。「看護師を目指
していましたが、でも、授業
で母性の勉強をしているう
ちに、助産師もいいなあと
思うようになって。女性に
しかなれない職業だし、母
と子の命をつなぐ、命に携
わる仕事だから。今は、助
産師の勉強が
楽しくて」

助産師の試
験を受けるに
は、お産に10
回立ち会っ
とが必須な
に、少子化でお産そのもの
が減っている。
だから、4年生になった
ら、立ち会う機会が得られ
る授業をぜひ受けた。し
かし、その受講枠が8人し
かない。

「その枠を目指す仲間が
約30人もいる。5、6、7
月に、3人の先生の、選抜
試験」を受けて、8月の面
接を経て9月に決まる」

在学中のチャンスは一度
きり。暑い夏の手感が頭を
よぎる。
「その授業を目指して、
わざわざ編入してきた学生
や、頭のいい人もたくさん
いて、本当に難関。でも、
挑戦するだけしてみようと
思っています」



生後すぐから、入院を
繰り返した。
乳児のころ、お尻に腫瘍

が見つかった。手術で切除
したが、その傷が、成長す
る体に合わず痛む。小学生
の時、皮膚を伸ばす手術を
受け、完治した時は中学生
メニユーを設けて管理する

私にとって、一番身近な職
業が看護師だったので
水泳部で、泳力に課題の
ある約20人を相手に、練習
のことでいっぱい。父が
手塩にかけたリンゴは、秋
の爽り待つ。

学業と水泳のない日は、
自宅近くのコンビニでアル
バイト。思い立つと、一人
でふらっと映画館へ。ポッ
プ・デュオ「ゆず」のライ
ブは、遠方でも毎年出かけ
る—公私に多忙、多感な
3年生の日々。
でも、「頭の中は、試験

**豊かな街づくりに、
役立つ宝くじ。**

宝くじの収益金は、図書館や動物園、学校や
公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や
災害に強い街づくりまで、いろいろなかたちで、
みなさまの暮らしに役立てられています。